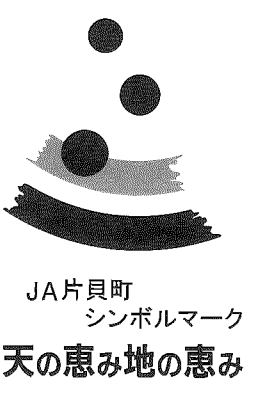


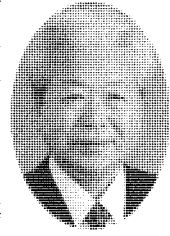
発行所 片貝新聞社 〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4 TEL 0258-84-3246 FAX 0258-84-2632 編集発行人 吉原芳郎 印刷所 吉原印刷



### 市議会一般質問行なわれる

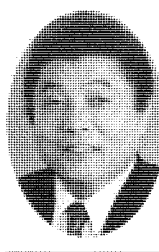
## 吉原市議が片貝まつり提える

安達、大平両市議も登壇

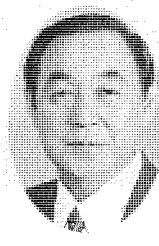


第2回定例市議会の市政に対する一般質問が、6月21、22の両日行なわれ12名が登壇、片貝地区の3市議も全員が質問した。

特に吉原正幸市議は片貝まつりについて「昨年は2日間30万人が訪れ、交通渋滞、携帯電話使用など大パニックとなった。秩父の夜まつり、飛騨高山の祭りはいずれも神社がらみの祭りであるが、行政が力を入れてはいる。政教分離は理解



するが、片貝まつりを全国に通ずる市内最大のイベントと位置づけ、市内の異状事態を緩和するという名目で、シャトルバスの運行、駐車場の確保、整理する人員の派遣等の協力が出来ないか」と質し、これに回答した。市長は「昨年土、日と重なり、特に9日は交通大渋滞を招いたことから、担当課に片貝まつり実行委員会、片貝町煙火協会と交通渋滞対策について協議する



よう指示し、今年も総合体育館駐車場を臨時駐車場として利用、シャトルバスを運行する方向で進めている。今後、駐車スペース確保が必要と考えており、関係者と協議してゆきたい。交通整理の人員派遣はまつりの性格上、無理と考えている」と答えた。なお吉原市議は山本山も観光開発についても質問した。安達、大平両市議は「県市町村合併促進要

### 学童保育いよいよ

今月25日からスタート

片貝学童保育を考える会(高橋良子代表)では、小学校的夏休み開始に合わせて、学童保育を今月の25日から「ふるさと会館」で開設する。

### 福祉社会が昼食会

初企画に参加者大喜び

片貝町福祉会(吉原幸至会長)では、去る6月20日(水)午前11時から、永寿荘に一人暮らしの方を招き、「昼食会」を開催した。

この催しは、昨年11月12日の午後から忍字亭で行われた「お茶飲み会」に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名

が参加した。参加者は、お茶飲み会に続いての2回目、今回は昨年の集まりの際の要望もあり、「デイホームかたかい」の補助員4名をはじめ、女性民生委員、JA女性部等の人々が「手作り昼食会」となった。当日は梅雨前線の影響で朝からの雨にもかかわらず、民生委員の送迎車にのって来る人、傘を差して歩いてくる人など21名



JA片貝町女性部(五十嵐照美部長)では、今年も「一人暮らし高齢者の声かけ訪問」を去る5月25・26の両日行った。

### お花をどーぞ

JA片貝町女性部(五十嵐照美部長)では、今年も「一人暮らし高齢者の声かけ訪問」を去る5月25・26の両日行った。このふれあい活動は昨年

### かたかい春秋

早くも7月と合同庁舎の中の三機関の雨明けはしてお梅雨の最中の一長い日であったが、あま

### スワツ！銀行強盗だ

北越銀行片貝支店(加藤徹也支店長)では、去る6月19日午後4時から、ガソリンとナイフを手に、2人組の強盗が同銀行に現れ、現金を持ち去って逃走...

### さわきが咲きました

片貝さつき盆会(小宮隆夫会長)主催のさわき盆会が6月2(土)・3(日)の両日午前9時から片貝ふれあい公園やき園・忍字亭で開催された。

### 鴻巣町内運動会

鴻巣町町内会運動会が主催の鴻巣町内会(川上東陽会長)主催の鴻巣子供会(山賀知子会長)で去る6月17日(日)午後2時から鴻巣広場で開催された。

この催しは昭和53年に鴻巣広場が完成した時、町内の親睦と活性化を目的として始められた行事で、今年も天候に恵まれ、会場となった鴻巣広場には、鴻巣町内の一から四班までの選手が集まり、開会式が行われ、今年小学校に入学したピカピカ一年生6名による選手宣誓で競技開始。しりとりにゲーム(写真、相手の風船を足で割る)、ゲートボール、幼児レース等8種



鴻巣町町内会運動会が主催の鴻巣町内会(川上東陽会長)主催の鴻巣子供会(山賀知子会長)で去る6月17日(日)午後2時から鴻巣広場で開催された。



片貝さつき盆会(小宮隆夫会長)主催のさわき盆会が6月2(土)・3(日)の両日午前9時から片貝ふれあい公園やき園・忍字亭で開催された。

## 主張

暮閑にして片貝に「福祉社会」があることを知らずにはいられぬ。小紙に報じられているように、昨年に引き続き2回目の会合が過ぎもたれたという。夫婦2人だけの世帯が増えていることについては感じていたが、それではこの片貝に一人暮らしのお年寄りや何人いるかと問われるも皆目見当もつかない。怠慢とか勉強不足と詰られても甘んじて受けざるをえない。

こと福祉については洋の東西を問わず宗教関係を中心として昔からあったことで、日本ではかつてその逆の村八分的なこ

ともあったりしたが、要はお互いというか共同での助合でもあったほうが分かりやすいかもしれない。敗戦後民主憲法が制定された第25条をはじめとする第13条・第14条など幾つかの条文で個人の権利が保障され、それによって社会保険、社会福祉が重要視されてきた。社会保障は救貧から防貧への発展といわれてきた。貧を救うことが主眼だが、そのためには先ず貧を防ぐことが前提で、とりわけ低所得者層対策とそれを目標とする社会福祉政策がとくに重要視されてきた。「高齢者、身体障害者、精神薄弱者、母子、

があって、あまり周囲の人に知られたくないこともある。いわばこれらの面をカバーするのが行政における福祉事業で、それこそ医療から少子化対策まで幅広い分野にわたっている。さらに昨今では営利を目的とした法人の活躍を期待したい。

うだ。これら福祉などの活動に自発的に無報酬で参加する人のことをボランティアと呼んでいる。ボランティアの名を高めたのが95年1月17日発生の阪神・淡路大地震、その後起きたロシア船による福井海岸の重油汚染事故で、どちらも全国各地方から大勢のボランティアが馳せ参り、ボランティアが大事なのだという。永六助輔氏の言葉に「生きていくということは誰かに借りをつくること、生きてゆくということはその借りを返してゆくこと」とある。片貝はまだまだボランティア活動が少ない。これを機会に大勢の人が参加し、明るい街づくり役に役立ててほしい。

